

## 企業局 平成30年度当初予算のポイント

照会先

企業局経営総務室

経営企画担当

019-629-6388(6389)

## [基本的な考え方]

長期経営方針（H22～31年度）に掲げる「クリーンな電力と良質な工業用水の安定供給」を引き続き実現するため、第5次中期経営計画（H28～31年度）に基づき、電力システム改革への対応、施設設備の長寿命化・耐震化、再生可能エネルギーの新規開発等を着実に推進するとともに、地域貢献の更なる充実や東芝メモリ新工場建設への対応に取り組んでいきます。

## 電気事業 ～ 高森高原風力発電所の本格稼働、いわて復興パワーによる震災復興・ふるさと振興への支援 ～

(単位：百万円、税抜)

	H30	H29	増減
収 益	6,150	5,266	884
費 用	5,908	4,679	1,229
純 利 益	242	587	△345

## 重点目標と要求のポイント

(金額は税込)

## 1 電力システム改革への対応

- 電力会社との基本契約（平成22～31年度）終了後の売電方法本格検討

## 2 信頼性の確保

- 長寿命化・耐震化に向けた施設の計画的な修繕・改良・更新や、維持管理に必要な委託を実施

**修繕費** 1,017百万円

- ・ 入畑発電所 水車発電機分解点検補修工事 161百万円
- ・ 包括外部監査の指摘を踏まえた特別修繕引当金の繰入額の計上等 324百万円 など

**改良費** 738百万円

- ・ 岩洞ダム 共有施設改良工事負担金 260百万円 など

**委託費** 780百万円

- ・ 発電施設等耐震化診断（岩洞第一発電所逆川揚水所水圧鉄管他） 45百万円 など

## 3 経済性の確保

- 電力料の安定確保と費用縮減
  - ・ 供給電力量 565,137MWh (H30) ← 527,504MWh (H29) [+37,633MWh (うち、高森供給電力量+37,326MWh) ]
  - ・ 電力料収入 6,297百万円 (H30) ← 5,423百万円 (H29) [+874百万円 (うち、高森電力料+887百万円) ]

## 4 新規開発

- 高森高原風力発電所の本格稼働

**純利益** 46百万円 (H30) 収入：1,082百万円、支出：1,036百万円

- ・ 総事業費 約127億円、**運転開始 平成30年1月1日**
- ・ 最大出力 25,300kW (2,300kW×11基)、年間供給電力量 約53,000MWh (一般家庭約16,000世帯分)

- 築川発電所の建設

**建設費** 521百万円 (H30) ← 351百万円 (H29) [+170百万円]

総事業費 約17億円、最大出力 1,900kW、年間供給電力量 約11,000MWh (一般家庭約3,300世帯分)  
 運転開始予定：平成33年度

- 新規開発や発電所出力アップのための「電源接続案件募集プロセス」への対応 (新規1か所、出力アップ1か所)

## 5 地域貢献

### ○ いわて復興パワーによる震災復興・ふるさと振興への貢献 126 百万円 [皆増]

- ・ 電力会社と連携した電気料金の割引支援（電力量料金の5%削減）
- ・ 震災復興・ふるさと振興パワー積立金を活用した一般会計への繰出し 126 百万円 [皆増]

□ いわて職業人材育成事業費補助【総務部】	6 百万円
□ プロジェクト研究調査事業費【政策地域部】	30 百万円
□ 県民主体の健康度アップ支援事業費【保健福祉部】	30 百万円
□ いわて新事業活動促進支援事業費補助【商工労働観光部】	30 百万円
□ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック県産材利用促進事業費【農林水産部】	30 百万円

### ○ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進 69 百万円 (H30) ← 97 百万円 (H29) [△28 百万円]

- ・ クリーンエネルギー導入支援事業 33 百万円 (H30) ← 59 百万円 (H29) [△26 百万円]

□ 市町村等が実施する太陽光発電を活用した街路灯設置等への支援	30 百万円 (H30) ← 30 百万円 (H29) [増減なし] (補助率：震災復興 9/10 以内、その他 3/4 以内)
□ 平成 28 年台風 10 号災害に係る被災 3 市町への特別支援	3 百万円 (H30) <1 町> ← 29 百万円 (H29) <1 市・1 町> [△26 百万円] (補助率：定額)

- ・ 一般会計への繰出し (9 事業) 32 百万円 (H30) ← 34 百万円 (H29) [△2 百万円]
- ・ 植樹活動支援 (15 か所、職員参加 100 名程度予定) 4 百万円 (H30) ← 4 百万円 (H29) [増減なし]

## 工業用水道事業 ～ 施設・設備の老朽化・耐震化対策と安定経営の取組、東芝メモリ新工場建設への対応 ～

(単位：百万円、税抜)

	H30	H29	増減
収 益	910	904	6
費 用	897	890	7
純 利 益	13	14	△1

### 重点目標と要求のポイント (金額は税込)

#### 1 信頼性の確保

##### ○ 工業用水の安定供給に向けた施設設備の計画的な修繕・改良と耐震化

**修繕費** 49 百万円  
 ・ 第二北上工水 金ヶ崎配水池コンクリート構造物補修工事 10 百万円 など

**改良費** 349 百万円  
 ・ 第二北上工水 送水管更新 (JR・国道横断部) 工事 212 百万円 など

**委託費** 172 百万円  
 ・ 第一北上工水 工業用水道事業業務委託 109 百万円 など

#### 2 経済性の確保

- ・ 契約水量 [増減なし]  
 一般水 39,189 m<sup>3</sup>/日、ろ過水 15,900 m<sup>3</sup>/日
- ・ 営業収益 903 百万円 (H30) ← 905 百万円 (H29) [△2 百万円]
- ・ 一般会計負担金 31 百万円 (H30) ← 28 百万円 (H29) [+3 百万円]

#### 3 新たな水需要への対応

##### ○ 東芝メモリ新工場建設への対応

**建設費等** 406 百万円 [皆増]